

※=入力必須項目

研究者名※	伊藤 由希子 ITO Yukiko	学位※	博士(文学)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	准教授
連絡先	itoy@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap*	https://researchmap.jp/yukikoit0		
研究分野※	人文学(哲学·倫理学、思想史)		
研究キーワード※	日本倫理学、東洋·日本思想史、日本哲学、倫理学原論·各論		
共同研究・競争的 資金等の研究課題	・近現代日本における女性の精神史の検討――向田邦子を中心に(令和元年度上廣倫理財団研究助成金、研究代表者、2020~2022年)		
社会貢献·産学官 連携活動等	・NPO法人「かわさき市民アカデミー」講師(2011年~) ・NPO法人「場の研究所」研究員(2007年~)		
受賞歴	·第57回和辻賞(日本倫理学会、2009年) ·日本思想史学会奨励賞(2014年)		

研究領域		(SDGs)	
研究テーマ※	日本人の思想・感情の基底発想の研究		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	【研究の背景・目的・内容】 日本人の思想・感情の基底部にある発想を、思想書にかぎらない文学・芸能・民俗などの諸テキストをできるだけテキスト内在的に読み解くことで、これまで主流であった価値観においては軽視されがちであったものの中にある思想可能性を引きだすことを試みている。 『日本霊異記』や『説経集』などの説話研究では、日常の背後にある仏教的縁起の不可思議なはたらきが、日本在来の天皇や神といった存在やはたらきと、どのように結びつけられてきたかを読み解いてきた。また、日本人の思想文化の基底部にある「たおやめ」性を、古代から現代までの歌、物語(神話・説話)、謡曲、ドラマ、映画、漫画など、さまざまな材料のうちに探り、その新たな現代的意義を考えている。 【応用例、研究の展望】 ・脚本家・作家・エッセイストとして活躍した向田邦子の作品から、その基底にある思想・感情を考察し、そこにある人間観・倫理観を探る・文字テキスト以外の映画・ドラマ・漫画などさまざまなジャンルの作品を対象に、それぞれのメディアの特性も考えながら、思想として概念化される以前の思想の可能性を考える・新しい学問領域として構築されつつある「死生学」的視点に立って、現代日本人の死生観をあらためて考える・新しい学問領域として構築されつつある「死生学」的視点に立って、現代日本人の死生観をあらためて考える		
本研究関連 特許・論文等	・伊藤由希子『仏と天皇と日本国――『日本霊異 ・伊藤由希子『女たちの精神史――明治から昭和	記』を読む』ぺりかん社、2013年 1の時代』春秋社、2018年	
共同研究・外部機関 との連携への期待			